

# 人権と立命館の歴史を辿って ～京都を歩く～



## 宝ヶ池国際会議場：COPⅢ

1997年地球温暖化防止京都会議（COPⅢ）で議決された「京都議定書」。温室効果ガスを、2012年までに1990年の5%、日本は6%削減の義務。2013年以降、鳩山首相は2020年までに1990年比で25%削減を国際公約。

京都には歴史的な事績が多数点在している。それらを目にするたび、先人たちが私たちに語りかけているような気になる。京都の空気はこのような人権の歴史の積みかさねによる重みみたいなものなのかもしれない。

☆スタート  
衣笠キャンパス



1939年立命館日満高等工科学学校の開校に始まり、1981年に衣笠一拠点化（1994年BKCC開学まで）。中央広場はプロ野球セ・リーグ初代チャンピオン「松竹ロビンス」（後身は横浜ベイスターズ）本拠の衣笠球場跡。

☆ゴール  
朱雀キャンパス



2006年開設。1階に「メモリアルホール」。

西大路通

堀川通

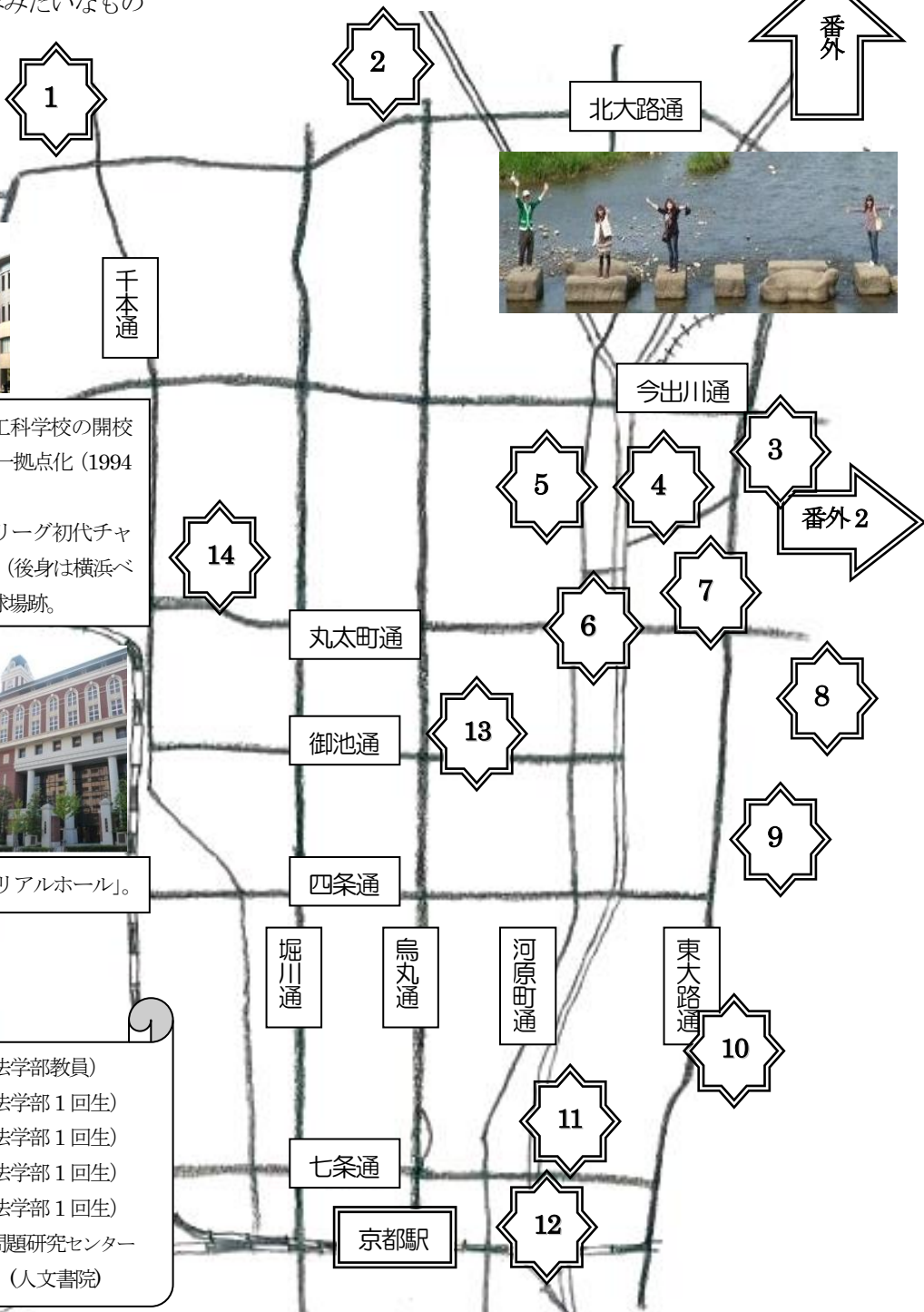
烏丸通

河原町通

東大路通


編集：佐藤敬二（法学部教員）  
 協力：有塚理絵（法学部1回生）  
 俣木健一（法学部1回生）  
 山口真理子（法学部1回生）  
 和田裕月（法学部1回生）  
 参考文献：世界人権問題研究センター  
 『京都人権歴史紀行』（人文書院）

\*信教の自由にかかわる遺跡はとりあげていません。全寺社に関わり、キリスト教関係にも多くの事績があるためです。天皇制にかかわる遺跡もとりあげていません。ここでとりあげた事績も含めて、天皇制の問題は多面的に亘るためです。皆さんが自分で考え調べてみることをお勧めします。



**1 ツラッティ千本**  
江戸時代末からの益井家による被差別部落の生活向上の努力、全国水平社初代委員長の南吉、1950年代後半からのまちづくり運動、を紹介。  
(千本北大路角、10:00-16:30、日・月・祝休館、無料)


**3 京大(滝川)事件**  
1933年、滝川幸辰教授の著書「刑法読本」の記述を理由に、内務省は同書を発売禁止処分、文部省は滝川教授を休職処分。これに対して、大学の自治、学問の自由を侵害するものとして、京都大学法学部の教授以下全33名が辞表を提出し、21名が辞職。  
大正デモクラシーから軍国主義に進む中での事件。  
辞職教員のうち、18名が立命館大学へ移籍。佐々木惣一先生、末川博先生が後に学長就任。




**5 広小路キャンパス**  
1901年から1981年まで旧広小路キャンパス。




**7 「京都、世界の子ども平和像」**  
子どもたちにより作られた、「核兵器と戦争のない21世紀を」という決意をこめた像。  
平和のシンボル「折り鶴」と東アジアで長寿を意味する「折り亀」。最初、立命館国際平和ミュージアムに仮設置。後に現在地へ移置。




**9 解放運動戦士の碑 (知恩院内)**  
1958年建立。  
碑文は末川博先生の揮毫。




**11 耳塚(鼻塚)**  
16世紀末、豊臣秀吉は大陸にも支配の手を伸ばすため朝鮮を侵略した。その際、軍功の証に朝鮮軍民男女の鼻や耳を削ぎ塩漬けにして日本へ持ち帰った。それを供養したもので、埋められたものだけでその数は12万6千以上。玉垣には寄付をした歌舞伎役者の名前が。




**13 柳池小学校**  
日本最初の小学校



**14 西陣空襲の跡 (山中油店、辰巳公園)**  
原爆の投下目標であったため大規模な空襲を受けなかった京都。空襲は何度も受け、1945年6月西陣空襲で死者50人以上。




**2 立命館小学校**  
1922年から1988年まで立命館中学・高校。「幾時代(いくとしつき)か」がありまして茶色い戦争ありました」中原中也在籍。  
2006年から立命館小。「培根達支」学問を大成するには根をしっかりと培うことが大切。




**4 荒神橋事件**  
「わだつみの像」は1953年、広小路キャンパスに到着。歓迎式に合流するため京大学生が荒神橋を渡ろうとしたところ、京都市警が違法デモとして阻止し、15名が鴨川に転落7名が重症。抗議の学生にも警官隊が襲いかかり70名が重軽傷。戦後の民主化からの「逆コース」の中での事件。

**6 清輝楼跡：「立命館草創の地」碑**  
立命館大学は1900年にこの地に創設された。  
民法起草者の富井政章博士が校長。教頭は後の京都市長井上密博士。



**8 全国水平社結成の地 (京都館庭)**  
被差別部落の人権尊重を目的に、1922年旧岡崎公会堂で結成。イギリス清教徒革命におけるlevellersにちなんで命名。  
「人の世に熱あれ 人間(じんかん)に光あれ」。水平社宣言は人権宣言。



**10 末川博先生の墓 (大谷本廟内)**  
民法学の泰斗、人権擁護のための社会活動でも活躍された。  
1945年から25年間、立命館大学学長・総長。立命館の教学理念である「平和と民主主義」を確立、総長公選制や全学協議会等立命館民主主義を築かれた。



**12 柳原銀行記念資料館**  
被差別部落民による銀行  
(10:00-16:30、無料)



**番外2 河上肇墓 (法然院)**  
「貧乏物語」の著者。末川博先生の義兄。